

# とままえ

# 11

No. 663



風かおる  
人が輝き  
躍動するまち



## まちひと百景

### 会場を湧かせるよさこい演舞!

苫前小学校の学芸会で披露された5年生のよさこいソーラン。8名という少ない人数ながらもステージいっぱいには踊るその演舞はまさに圧巻!

この日は朝早くからメイクや衣装をバッチリ着こなし、オープニングでは三味線演奏からはじまり、よさこいソーランビートを披露した。

終了後は、大きな拍手と声援が飛び交い演舞のすばらしさを物語っていた。

- 道展会友賞受賞ほか… 2
- 「燃えよ剣」十朱幸代さんほか… 3
- 町有形文化財ほか… 4
- 各学校祭・学芸会… 5
- 健康ばんざい… 6
- 後期高齢者医療ガイド… 7
- 国民年金… 8
- 学びの広場… 9
- 住まいる情報… 10～11
- 議会だより… 12～23
- 中学生ギャラリー… 24

苫前町  
議会だより  
合併号

### まちの人口

人口/3,253人 (男/1,548人 : 女/1,705人)  
世帯数/1,583世帯 (10月31日現在)

## 道展会友賞を受賞 ～苫前中学校の梅原賢伸教諭～



道内最大規模の公募展、第91回道展（北海道美術協会主催）で、苫前中学校の梅原賢伸教諭が会友賞を受賞した。

道展会員になるための条件となる会友賞は、今回63人の会友から10人が選ばれた。このうち3人が油彩部門で、留萌、宗谷管内では梅原さんだけだった。今回の賞で会員推挙が目前に迫った。

作品は北の大地で夢や希望を持って、たくましく生きる若者像を描いており、このモチーフは2007年から描き続けている。モデルは息子の豊史くん誉生くんだ。

2011年の二紀展で入選した以降、同会の重鎮によるアドバイスをもとにストーリーの見える作品を

発表している。梅原さんは「ずっと目標にしてきたのでうれし。次のステップになる」と喜んでい。また梅原さんは羽幌中、初山別中、留萌港南中で教鞭をとる、今春より苫前中へ赴任、古丹別中・羽幌中を兼務校として美術を教えている。

広報とままえ10月号では、全国的な馬の絵作品展で受賞した古丹別中学校の生徒の作品も梅原先生によるアドバイスがあったもの。

今後は、自分の経験を生かして、美術の奥ゆかしさを生徒に伝えることはもちろんのこと、全道展から全国展へと高見を目指し公募展に挑戦していきたいと意欲を燃やしていた。



## 菊池紀代美さんに北海道社会貢献賞



10月4日(火)役場町長室で北海道社会貢献賞の伝達が森町長より行われた。

菊池さんは今日に至るまでの29年間、同保育所の良好な運営に大きく寄与したことが認められ、受賞となった。

森町長からは「子供たちのためにこつこつと一生懸命働いて保育所を支えていただき、ありがとうございます。ますます」と労いの言葉を述べた。

菊池さんは「とてもうれしいです。定年まであと4年余りですが、60歳を超えても頑張っていきたい」と話していた。

10月20日(木)役場町長室で地域福祉の向上に寄与したとして芳賀良子さんと佐藤映里香さんに留萌振興局長表彰（社会福祉課所管）の伝達が行われた。

芳賀さんは平成15年9月から町民生委員児童委員を務め、奉仕の精神で職務に精励し、地域住民の生活向上に各種相談や生活向上に尽力された。

表彰状と記念品を受け取った芳賀さんは「これからもできる限り、お年寄りの方々の話し相手を務めたいと思います」と述べていた。



## 芳賀 良子さん 佐藤映里香さん に留萌振興局長表彰

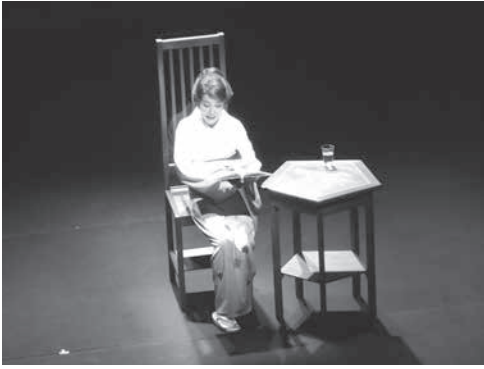


一方、佐藤さんは平成7年から保育士として乳幼児から年長児まで幅広く担当。

児童福祉の向上や同保育所の運営、環境整備に貢献している。

表彰状と記念品を受け取った佐藤さんは「あつという間の20年間でした。これからも仕事に頑張ります」と、職務や仕事への意欲を新たにしていた。

## 「燃えよ剣」～土方歳三に愛された女、お雪を十朱幸代さんが熱演～



10月12日(水)公民館において、苦前町、苦前町教育委員会、北海道、(一財)自治総合センター主催による「燃えよ剣」が公演され、約190名の来場があり、終始十朱幸代さんの迫真の演技に吸い込まれた。

出演は、十朱幸代さんの語りを通して演じるもので、演出効果として宮川彬良さんがピアノ演奏をした。

公演終了後、カーテンコールで十朱さんは、主人公の土方歳三は「私のいい人」とニコニコ。

最後まで観劇いただいた来場者に感謝を述べ、会場からは大きな拍手を受けていた。

## 家族みんなで読書の習慣づけを！ ～第36回読書感想文コンクール表彰式～

10月21日(金)公民館で第36回読書感想文コンクール表彰式が、応募総数63点の中で32点が入選し、児童生徒及び保護者などあわせて約100名が参加し開催された。

教育委員会の池田文敏教育長は「本は私たちの心を成長させてくれる、いろいろなることを教えてくれる友達と言われている。本から受け取った感動や知識は知恵となつて、皆さんの宝になります」と挨拶した。

各部門の入賞者一人ひとりに賞状と副賞が手渡された後、最優秀賞受賞者よる作品の朗読が行われた。



部門	区分	学校	学年	氏名
小学1年生	最優秀賞	古小	1年	吉村 咲音
	優秀賞	苦小	1年	岡田 美波
	佳作	苦小	1年	福崎 そら
	佳作	苦小	1年	天谷 優里
小学2年生	最優秀賞	古小	2年	桧森 梨奈
	優秀賞	古小	2年	清水 琉花
	佳作	苦小	2年	古川 優真
	佳作	苦小	2年	大田 蒼輔
小学3・4年生	最優秀賞	苦小	4年	山口 太雅
	優秀賞	古小	3年	清水 美和
	優秀賞	古小	4年	瀬川 天夢
	佳作	苦小	4年	塚田 和奈子
	佳作	古小	3年	丹羽 陽詩
佳作	苦小	3年	阿部 隼也	

部門	区分	学校	学年	氏名
小学5・6年生	最優秀賞	苦小	5年	小林 悠之
	優秀賞	苦小	5年	安田 衣彩
	優秀賞	苦小	6年	千葉 心樹
	佳作	苦小	6年	坂本 佳樹
	佳作	古小	6年	西本 桜誇
	佳作	苦小	6年	石井 くるみ
中学生	最優秀賞	古中	1年	前川 咲弥花
	優秀賞	古中	3年	清水 将
	優秀賞	古中	1年	平井 憲吾
	佳作	古中	2年	川端 美桜
	佳作	古中	3年	田井 脩太郎
	佳作	古中	1年	橋場 星宙
高校生	最優秀賞	苦商	3年	前川 幹也
	優秀賞	苦商	3年	桜井 美玖
	優秀賞	苦商	3年	江島 尚希
	佳作	苦商	1年	村上 紗耶
	佳作	苦商	3年	仲谷 泉希
	佳作	苦商	1年	堀田 華

## 苦前・男前婚活ツアー ～男女合わせて27名が参加～



苦前町結婚サポート実行委員会(小笠原宏一会長)が主催する婚活ツアーを10月22日(土)の2日間(わたり開催し、町からは独身男性14名と女性は市内独身女性13名が参加した。

初日は市内ホテルで交流会を実施。2日目は買い物ゲームをしながら「さくらんど(東区)」でBBQを行い、最後にペアを決めて終了した。

ペアでは1位同士の指名が6組、1位と2位指名同士が2組で合計8組のペアが誕生した。

参加者した男性は「二次会が非常によかった。女性の結婚意識が高いことを感じた。これで自分もスイッチが入った気がする」、女性からは「苦前の男性はとてもやさしく話しやすい。札幌でも婚活は何度か参加しているが、こんな楽しい出会いは今までになかった」という声が寄せられた。

## 「しっかり守っていく」～苦前神社宮司の瀧川慎吾さん～

10月25日(火)苦前神社瀧川慎吾宮司に町有形文化財指定されたのが手渡された。

町有形文化財に指定されたのは、苦前神社奉納物(石灯籠二基、狛犬一对、絵馬四額の八点)町有形文化財としては、須恵器、修羅、琴平神社史料群に続き、4番目となった。

瀧川宮司は「このような歴史的な瞬間に立ち会えてうれしい。貴重な文化財を守るための努力をしたい」と述べていた。



## ブルーレイレコーダー寄贈 ～苦前町商工会青年部～



10月27日(木)町商工会青年部(原野友助部長)は、特別養護老人ホーム「苦前幸寿園」にブルーレイレコーダー11台を贈った。

ブルーレイレコーダーの寄贈は、来年迎える創立50周年の記念事業の一環とするもの。

原野部長からは「青年部が50周年を迎えられたのも先人の知恵があつてこそ、諸先輩たちに敬意を表し、ささやかだが贈りたい」と述べた。

これに対し石川裕一施設長は「以前からほしいと思つてた。時代物や歌謡番組などの録画、忘年会や敬老会の写真をテレビで流したりして活用します」と感謝の意を述べていた。

## 今年の「まちなかサロン」終える ～誕生会やカラオケなど楽しく～

5月に苦前福祉センターで開設した「まちなかサロン」が10月28日(金)で終了した。

誕生会が4回に増えたほか、血圧測定や栄養相談、苦前駐在所の交通安全教室、カラオケなど今年のサロンも盛り上がった。

同サロン実行委員会の野崎信輝会長によると、5月20日から今日まで23回開き毎回22～23人、スタッフを入れると30人程度が常時参加しており、延べ人数で650人が参加している。

年々定着しており、楽しい時間を過ごせっていると述べていた。

この日は最終日とあつて、小澤哲也副町長も加わり、参加者と親しく懇談、来年の再会を約束していた。



## 札幌エスタ地下1階で物販活動 ～苦前商業高等学校3年生によるスマイルウィンド事業～



10月28日(金)に札幌のエスタ地下1階(エスタ大食品街入口)で苦前商業高等学校(金子義之校長)3年生16名によるスマイル・ウィンド事業が開催された。

この事業は苦前町のPRと特産品の販売活動を併せて行われたもので、事業の実現のため町内の団体や個人からの寄附金で実現したものである。

同校生徒らは前日27日(木)に札幌入りし、市内でチラシを配布、PR活動を行った。

28日当日は、朝8時半より机、冷凍庫、のぼりの設置、販売商品の陳列や価格表を貼るなどの準備を行い、午前10時より販売を開始した。

北るもい漁業協同組合苦前支所の水産加工品やJA苦前町の野菜など特産品がずらりと並び買い求めるお客さんにぎわっていた。



**10月1日㊦ 苦中祭**  
歩み～受け継ごう、伝統を～

**10月2日㊦ 古丹別中学校文化祭**  
笑顔と感謝の円舞曲～Thank you for 70th～



**10月8日㊦ 苦前小学校学芸会**  
THE ラスト・ステージ～みんなの心に 笑顔と感動の花を 咲かせよう～

**10月16日㊦ 古丹別小学校学芸会**  
笑顔のステージ～輝く68の星～

**乳搾り体験で酪農についての学習を深める ～学社融合事業「酪農体験」～**



質問応答では「1日あたりの搾乳量は？」  
「どうして牛は胃が4つあるの？」という質問に、丹羽さんも丁寧に答えていた。

10月25日(火)に古丹別小学校(里見清孝校長)の3年生12名を対象とした学社融合事業「酪農体験」が、岩見で酪農業を営む丹羽秀樹さん宅で行われた。  
最初に丹羽さんから「牛はとても臆病なので大声を出したり走ったりしないこと」と注意事項を聞いた後、児童一人ひとりが乳搾り体験を行った。  
最初はおっかなびっくりだったが上手に乳搾りができると嬉しそうな表情を浮かべていた。